



2021 年度 活動報告書

ANNUAL REPORT



リトリート事業モニターツアーの様子

理事長あいさつ



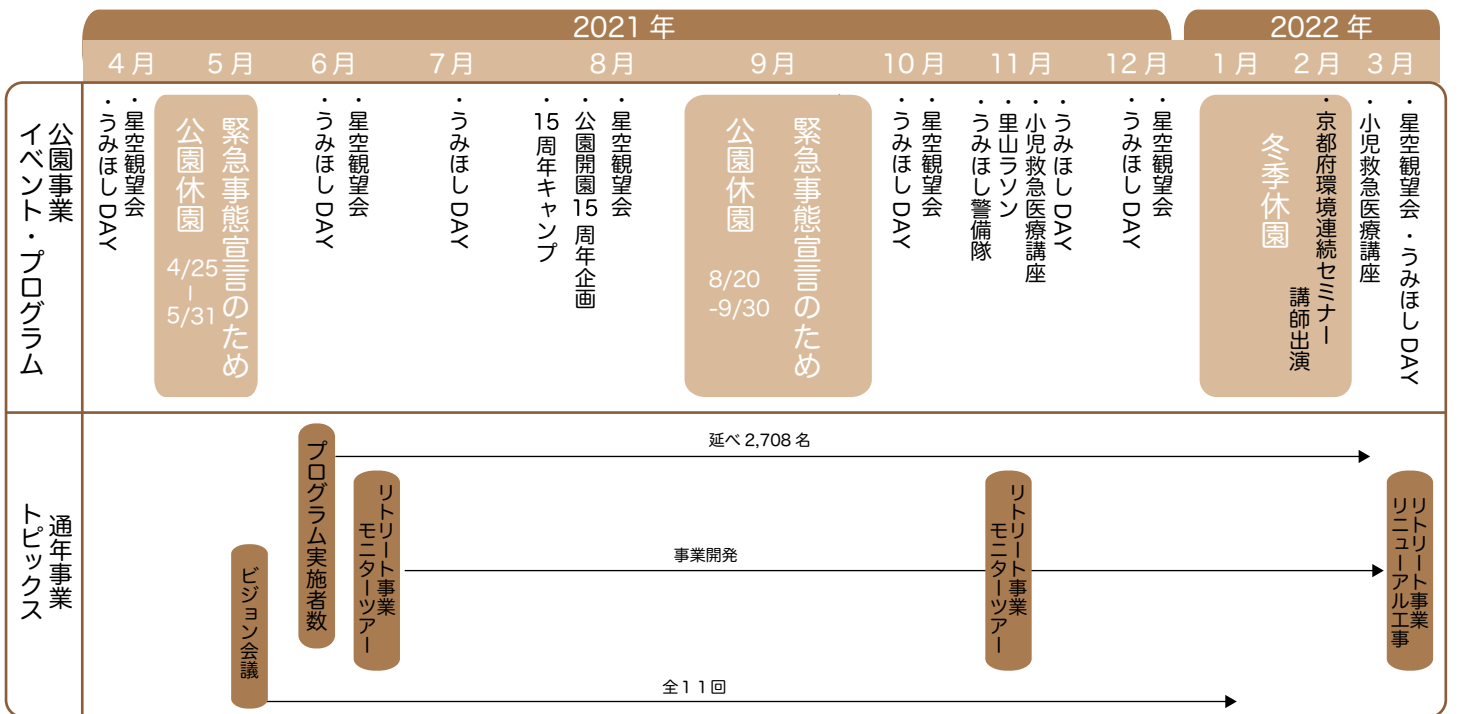
市瀬 拓哉

新型コロナウイルス感染拡大の世界的な広がりから2年以上の月日が経ちました。2度の緊急事態宣言などの影響もあり、企画の中止・延期を余儀なくされる機会が多くありました。人々の行動様式や意識が変化する中で、地球デザインスクールのビジョンや方向性を見直す議論を理事・スタッフで進めました。

昨年度に引き続き、新たな宿泊スタイル「けとはれのあわい」の事業開発を行い、2022年4月1日のスタートに繋げることができました。

2022年度は法人設立から20周年を迎えます。気持ち新たに次の一步を踏み出していきます。

2021 年度のあゆみ



丹後海と星の見える丘公園事業

プログラム

[環境教育プログラム]

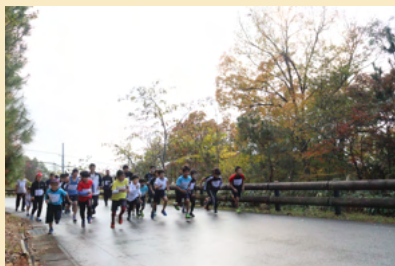
- ・森の楽校:636名
- ・海の楽校:506名
- ・食の楽校:実施せず
- ・京都自然塾:463名



京都自然塾 -石の地球-

[イベント形式開催]

- ・里山ラソン:35名
- ・うみほし警備隊:15名
- ・星空観望会(全7回):85名
- ・うみほし公園で学ぼう!:4名
- ・うみほしDAY(全7回):62名
- ・公園15周年キャンプ:11名



里山ラソン

[自然体験プログラム・救急講座]

- ・個人/団体利用(全28組):317名
- ・小児救急医療講座(全5回):14名

[訪問プログラム・オンライン講座]

- ・訪問プログラム(全13回):859名
- ・オンライン講座/プログラム:157名



訪問プログラム -海塾-

コロナ禍で多くのキャンセルもあった一方で、府内の学校からの修学旅行や遠足の受入れが例年より増えた。特に海の体験や京都自然塾の参加が多くあった。学校や施設に向いての訪問プログラムやオンライン講座も実施した。

環境教育プログラム参加者数



1605名

前年度対比:184%(872名)

プログラム
実施の学校数

38校

前年度対比:115%(33校)

イベントに参加した人数



212名

前年度対比:10%(2018名)

自然体験・救急講座に参加した人数



331名

2020年度・公園に宿泊した人数



1079名

前年度対比:89%(1210名)

※宿泊棟、キャンプサイトの合算値

公園整備



幼児・児童期に地球デザインスクール主催のキャンプや自然体験に参加していたOB/OGメンバーが集まり、花壇の種まきや15周年を迎えた公園を彩る風車の設置などに取り組んだ。



コロナの影響で中止していた公園サポーターを復活させ、花壇の手入れやこどもの森キッチンガーデンの整備を行った。



京都府立海洋高等学校の土木実習の受入れを行った。風の谷エリアの魚魚(とと)ロードの整備や大地の天文台の記憶の丘と風の谷にベンチを設置し、森と海の繋がりを感ずることができ、ゆっくりと過ごせる場所づくりをした。



臨時休園期間中は整備活動に力を入れ、草刈りや枯れ木の除伐、作業道整備などを積極的に実施した。こどもの森には、手足を洗う水道を整備し、小さい子供でも使える水道は来園者にも好評いただいている。さらに、セミナーハウス近くに作成した看板は訪れた方のフォトスポットになるなど、魅力化につなげることができた。リトリート事業の導入に合わせ、セミナーハウス・キャンプサイト・宿泊棟に植栽を行い、来園者が憩える空間づくりを行った。



生態調査



京都府天然記念物であるハッチョウトンボの保護活動と湿地整備を継続して行った。環境省事業であるモニタリングサイト1000に引き続き登録し、植生調査と水環境調査を実施した。

リトリート事業

「環境教育の拠点＝こどもたちの体験や学びの場」から、「大人もこどもも自然の中に身を置くことで自然や環境について感じる場」へ。

そもそも地球デザインスクールが「海と星の見える丘公園」を舞台に社会に発信したかったこと、提供したかったことは何かに立ち返ったとき、ウィズコロナ社会の公園の在り方としても発信できるものになった。



1年前のレポートで準備開始とお伝えしていたものを、「け（日常）とはれ（非日常）のあわい（間）」として第一段階の形にした。

うみほしは、暮らすように自然に、日常とは違う今日を過ごせる場。うみほしという非日常で得た感覚や知恵を日常に持ち帰り日々の生活が豊かになる。

新しい宿泊スタイル「けとはれのあわい」をこの先も進化、深化させていく。

NPO 事業

組織基盤強化を目的に定期的な話し合いの時間を確保し、法人の根幹となるビジョンを共有し、安全衛生管理強化、職場環境改善などを実施。



理事・スタッフ会議



グラレコ研修

・ビジョン会議

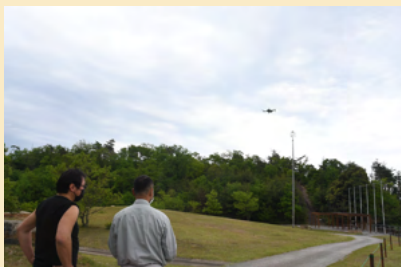
地球デザインスクールが目指す社会像や成すべきことについて、理事・職員が話し合う機会を年間を通して定期的に設けた。

・安全衛生委員会

組織運営におけるリスクマネジメントを担う委員会を常設。毎月安全教育を行うとともに、災害などの非常時に対応できる体制整備を行った。

・5S活動

お客様と職員スペースの整理整頓を行うと共に、清掃・清潔を実践し、お客様の満足度向上と職員の職場環境改善を図った。



ドローン研修



ビジョン会議

お客様の声 (2021年度宿泊者アンケートより抜粋 原文そのまま)

- ・フィールドワークをするときに、「しおさいのテラス」方面に行く案内板があってもいいかなと思いました。スタッフさんがやさしく対応してくれて、本当に子供は楽しそうでした。子供が連泊したいと駄々をこねてました。
- ・体験の時、時間と持ち物、服装などの要点の説明が少し足りないと感じた。「13:00に海に入れる格好で集合してください」など
- ・とても素晴らしい施設です。星の観察もでき、次回は子供たちを連れて来て、自然を楽しみたい。親切なスタッフの皆さん、ありがとうございました

➡ 以上のようなご意見・ご感想を踏まえながら、地球デザインスクールの発信方法の検討とおお客様の満足度向上に勤めて参ります。

地域とのつながり

地球デザインスクールの活動に賛同・共感いただいた方から金品や活動でのご支援を受けた。
(五十音順、敬称略)

ご寄付

稲荷 毅、奥谷 三穂、碓 紀久子、松田 宏
三野 勲、山形 歩、山添 晶子

ボランティア活動

嶋田 勇、橋本 美有紀

今年度も嶋田氏に協力いただいたハッチョウトンボ調査がテレビや新聞など各種メディアに取り上げられた。

うみほし公園 15周年



皆様に支えられて、2006年の開園から15周年を迎えた。これからも地域の方をはじめ、多くの方に愛される公園になることを目指します。

人材育成

大学生、高校生を中心に新規事業のメニュー開発やプログラム・園内整備の活動の協力をいただいた。組織内では、新規事業や組織基盤強化に関する研修・視察などを行った。

ボランティア

13名(京都府立宮津天橋高等学校、京都府立峰山高等学校)

インターンシップ

延べ41名(京都府立大学、京都府立林業大学校、京都府立宮津天橋高等学校)



宮津天橋高等学校



京都府立大学・京都府立林業大学校
宮津高等学校伊根分校



峰山高等学校・宮津天橋高等学校

研修・視察

- ・新規事業検討のための先進施設視察(全5施設)
- ・中長期事業計画作成研修
- ・ファシリテーター養成講座
- ・ドリンク講座
- ・グラフィックレコード研修
- ・NPO新任者研修
- ・ドローン研修 など

活動の様子

日々の活動の様子は、SNSにて随時更新しています。ぜひご覧ください！
(いいね!&フォローもお待ちしてます!)



アカウント名

f 地球デザインスクール



アカウント名

umihoshi9111



アカウント名

f 京都府立 丹後海と星の見える丘公園



アカウント名

@umihoshi9111



#うみほし
#umihoshi

活動に参加する

日程
応相談



森づくり DAY

プログラムや森づくりなどでは、様々な方のご協力が必要です。社会人の方も大歓迎！
ぜひ興味ある方はご一報ください！

E-mail/e-ds@e-ds.org

2021 年度運営体制

いつでもお気軽にお声かけください！

【カッコ内は現場職員の担当】

理事：市瀬 拓哉(理事長) / 奥谷 三穂 / 西原 重樹 / 安田 潤 / 清水 睦(事務局長)

職員：野木 俊宏(園長) / 太田 征紀(設備) / 徳本 英明(宿泊)

小島 広(整備) / 倉野 良太(広報)



NPO 法人
地球デザインスクール

〒626-0202 京都府宮津市宇大島 496 番地 2

TEL / 070-2315-5050 E-mail / e-ds@e-ds.org HP / http://e-ds.org/